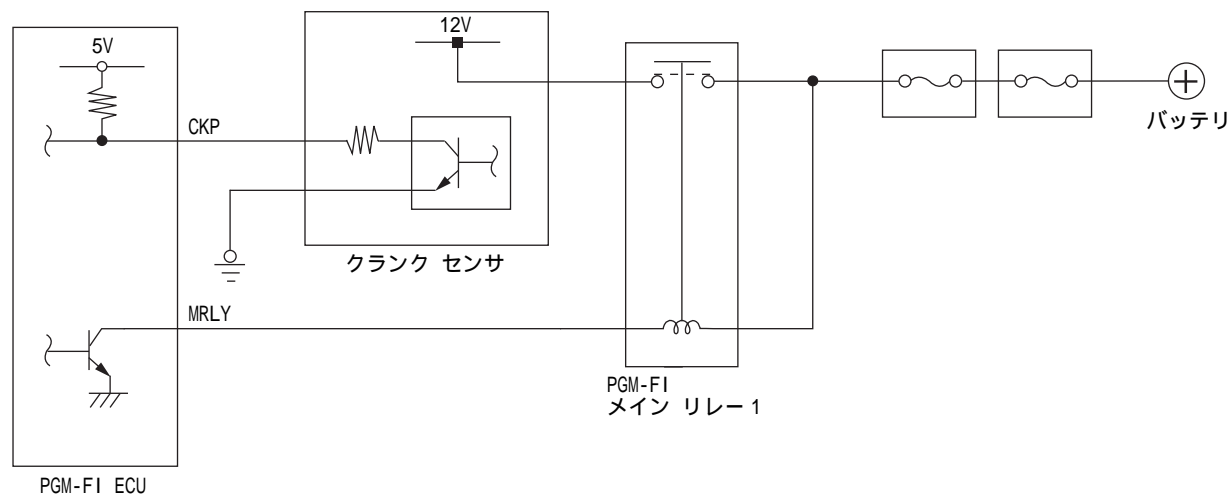


DTC 解説

DTC P0335: クランク センサ パルスなし

検知原理解説



01_P0335C_TM8A00

クランク センサは、パルサ ロータとロータ位置を検出する半導体で構成されている。エンジンが始動するとパルサ ロータが回転し、クランク センサの磁束が変動する。磁束の変動はパルス信号に変換され PGM-FI ECU に送られる。クランク センサは、各シリンダの点火時期制御および燃料噴射時期制御に用いられる。クランク センサからのパルス信号が入力されない場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	2 秒間以上 (エンジン回転数 750rpm 時)
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
エンジンの状態	作動中
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0365、P0369

故障判定基準

TDC センサのパルス信号が 75 回以上検出される間、クランク センサからのパルス信号が入力されない場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とクランク センサ間コード (CKP ライン) の断線
- ・ PGM-FI ECU とクランク センサ間コード (CKP ライン) の地絡
- ・ クランク センサ コード (電源供給ライン) の断線
- ・ クランク センサとボディ間コード (グランド ライン) の断線
- ・ クランク センサの故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC 解説

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。